

平成31年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月10日

上場会社名 株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド 上場取引所 東  
 コード番号 7829 URL http://www.samantha.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)寺田 和正  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)菅原 隆司 (TEL) 03(6400)5524  
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第1四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第1四半期	7,492	△12.2	510	891.4	438	—	271	—
30年2月期第1四半期	8,531	△14.5	51	△92.0	5	△99.0	△25	—

(注) 包括利益 31年2月期第1四半期 315百万円(—%) 30年2月期第1四半期 △24百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第1四半期	7.68	—
30年2月期第1四半期	△0.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第1四半期	16,803	4,756	28.0
30年2月期	16,718	4,617	27.3

(参考) 自己資本 31年2月期第1四半期 4,707百万円 30年2月期 4,558百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	5.00	—	5.00	10.00
31年2月期	—	—	—	—	—
31年2月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,599	△14.2	235	—	214	—	110	—	3.13
通期	27,497	△14.5	308	—	264	—	117	—	3.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年2月期1Q	35,296,000株	30年2月期	35,296,000株
② 期末自己株式数	—株	30年2月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	35,296,000株	30年2月期1Q	35,296,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、緩やかな景気回復の動きが見られた一方、米国新政権の政策や欧州における政治リスク、アジア諸国の経済動向等、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主要な関連業界である百貨店を含む小売業界におきましては、消費者の低価格志向が引き続き強く、個人消費は伸び悩んでおり、依然として厳しい経営環境となっております。

このような状況のもと、当社グループは、「良い人、良い場所、良い商品、良い宣伝」の実施を事業戦略にかかげ、効果的な店舗展開とプロモーション活動及び商品戦略などを展開してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前期に行った選択と集中による事業再編に伴う店舗の整理による店舗数の減少(前年同期比で30店舗の減少)の影響もあり、74億92百万円(前年同期比12.2%減)となりました。

売上総利益率は、原価低減に努めた結果、前年同期比4.4ポイント増の73.5%となりましたが、減収により売上総利益額は55億8百万円(前年同期比6.5%減)となりました。

販売費及び一般管理費は、人件費・広告宣伝費、販売促進費及び業務委託費の見直しを行ったことにより、販売費及び一般管理費の対売上高比率は、前年同期比1.8ポイント減の66.7%となりました。この結果、営業利益は5億10百万円(前年同期比891.4%増)となりました。

営業外損益は、為替差損61百万円など合計73百万円を営業外費用に計上し、経常利益は4億38百万円(前年同期比4億33百万円増)となりました。

また、法人税等合計1億77百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億71百万円(前年同期は25百万円の損失)となりました。

なお、当社グループは「ファッションブランドビジネス」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの主な取組みは以下のとおりであります。

#### <店舗展開について>

出店戦略として、選択と集中による事業再編に伴う低採算店舗の整理、ブランド変更や店舗統合を行ってまいりました。事業別の出退店数、主な店舗は以下のとおりであります。

バッグ事業においては、6店舗の出店(12店舗の退店)となりました。国内ではJR川崎駅西口に直結する大型商業施設「ラゾーナ川崎プラザ」に「Samantha Vega(サマンサベガ)& Samantha Thavasa Petit Choice(サマンサタバサプチチョイス)」を出店いたしました。また、「Samantha Thavasa(サマンサタバサ)」を神戸大丸に、「Samantha Thavasa Petit Choice」を神戸マルイに出店いたしました。そして、沖縄本島南部に位置する「沖縄アウトレットモール・あしびなー」に「Samantha Thavasa NEXT PAGE(サマンサタバサネクストページ)」を出店いたしました。

ジュエリー事業においては、2店舗の退店となりました。

アパレル事業においては、2店舗の出店となりました。「Swingle(スウィングル)」及び「And Couture(アンドクチュール)」を名古屋パルコに出店いたしました。

海外においては1店舗の出店(2店舗の退店)となりました。韓国釜山の「ロッテプレミアムアウトレット キムヘ」に「Samantha Thavasa」を出店いたしました。

その結果、サマンサタバサグループ合計で前年度末比で7店舗純減し、当第1四半期連結累計期間末の店舗数は384店舗となりました。

#### <プロモーション活動について>

プロモーション活動として、TVCMや、多数のファッション誌への掲載、各種イベント・キャンペーンなどを行ってまいりました。

「Samantha Thavasa(サマンサタバサ)」の2018年春夏のブランドイメージに合わせ、日米を代表するミレニアル世代をキャストしたドラマ仕立てのLOVEストーリーを2018年3月にTVCMにて放映いたしました。

また、連動企画としてTVCMの詳細を鑑賞できるwebドラマをサマンサタバサ公式YouTubeにて配信いたしました。そして、ウェブベルマーク協会を通じてチャリティリレーを行い、YouTube再生回数を対象とした寄付を実施いたしました。

また、2018年3月から「Samantha Vega(サマンサベガ)」においてEXILE/ GENERATIONS from EXILE TRIBEの白濱亜嵐さん、オースティン・マホーンさんをはじめとする男女8人が夏休みにロサンゼルスマリブビーチで出逢うストーリーをTVCMにて放映し、WebドラマとしてYouTubeにて配信いたしました。そして、サマンサタバサ表参道GATES ポップアップデジタルストアにおいて、共演した白濱亜嵐さんとオースティン・マホーンさんをゲストに迎え、Webドラマ新作発表会を開催し、両氏によるトークショーを実施いたしました。

2018年3月に5年目を迎えた「美少女戦士セーラームーン」× ISETANコラボレーションイベント「Let's Have a "Moonlight" & "Starlight" Party!」が伊勢丹新宿店本館、名古屋ISETAN HAUS及び大阪ルクアイーレにおいて開催され「Samantha Vega」、「Samantha Thavasa Petit Choice」及び「Samantha Tiara」の3ブランドをそれぞれに出店いたしました。

また、近未来の 안드로이드 雇用 にいち早く着手し、サマンサタバサ表参道GATES ポップアップデジタルストアにおいて、アンドロイドの「Samantha U(サマンサユウ)」を研修生として雇用いたしました。3月に開催したお披露目はTV・Webメディアで多数報道されました。

2018年5月には、幕張メッセで開催された「GirlsAward(ガールズアワード)」にバッグ事業から、「Samantha Thavasa(サマンサタバサ)」が、アパレル事業から「REDYAZEL(レディアゼル)」が参加いたしました。また、小泉成器株式会社との協業により誕生し、世界的権威のデザイン賞「レッド・ドット・デザイン賞」プロダクト・デザイン2018を受賞した温風カールアイロン「nano airy(ナノエアリー)」を体感できる特設ブースを設置いたしました。

そして、Youtubeチャンネル登録者数国内最多を誇り、若年層より支持されている人気クリエイター「はじめしゃちょー」とのコラボレーション商品の発売と発売記念イベントを実施いたしました。

#### <オムニチャネル戦略について>

今後も増加が見込まれる中国人を中心とした訪日客に対する快適なショッピングサポートを目指し、株式会社ジャックスと提携し、中国最大の決済サービス「アリペイ(支付宝)」を2018年3月にサマンサタバサ表参道GATES ポップアップデジタルストアにおいて導入し、その後、他の店舗への導入を行なっております。そして、仮想通貨・ブロックチェーン企業である株式会社bitFlyer が提供するビットコインによる決済サービス「bitFlyerウォレット」も導入いたしました。

また、店舗社員のコーディネートSNSへ投稿する「STAFF START(スタッフスタート)」を導入し、投稿した画像からのEC売上評価やSNS経由売上評価を行うことによる成果の可視化を開始いたしました。今後も店舗社員がEC上においても活躍できる仕組みづくりを行ないお客様サービスの向上に努めてまいります。

#### <商品戦略について>

商品戦略として、各ブランドにおいて話題性のある多くの商品を販売いたしました。

バッグ事業においては、グローバルブランドへの更なる一歩として、アメリカ西海岸生まれのライフスタイル提案型セレクトショップ「Fred Segal(フレッドシーガル)」とコラボレーションを行い、オンラインショップにて先行予約販売し、その後に全国の店舗にて販売を開始いたしました。

2018年5月に、「Samantha Vega(サマンサベガ)」において、千葉商科大学サービス創造学部の学生の皆様が運営する、プロバスケットボールチーム「千葉ジェッツ」の活動を通じたプロジェクト「千葉ジェッツプロジェクト」とのコラボレーションを行ない、学生の皆様のアイデアを基に新しいスポーツ観戦の魅力を創造するデザイン及び機能性を追及したコラボレーション商品を発売いたしました。

ジュエリー事業においては、「Samantha Tiara(サマンサティアラ)」が、創業130周年を迎えたデビアスグループのダイヤモンドブランド「Forevermark(フォーエバーマーク)」とのブライダルコラボレーションを展開いたしました。婚約・結婚という大切な人生の節目に向けて、エンゲージリング及びマリッジリングを展開いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は168億3百万円であり、前連結会計年度末と比較して84百万円増加しております。主な要因は、受取手形及び売掛金が1億72百万円、商品及び製品が4億26百万円増加した一方、現金及び預金が3億35百万円減少したことなどによるものであります。

(負債)

総負債は120億46百万円であり、前連結会計年度末と比較して54百万円減少しております。主な要因は、支払手形及び買掛金が1億86百万円、賞与引当金が2億37百万円増加した一方、長期借入金が5億34百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産は47億56百万円であり、前連結会計年度末と比較して1億38百万円増加しております。主な増加要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成30年4月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,564,037	2,228,635
受取手形及び売掛金	1,650,430	1,823,343
商品及び製品	5,280,178	5,706,829
原材料及び貯蔵品	260,126	249,341
その他	1,551,534	1,431,258
貸倒引当金	△628	△628
流動資産合計	11,305,679	11,438,778
固定資産		
有形固定資産	1,309,469	1,352,114
無形固定資産		
その他	421,742	408,171
無形固定資産合計	421,742	408,171
投資その他の資産		
差入保証金	2,594,790	2,582,226
その他	1,087,150	1,021,946
投資その他の資産合計	3,681,940	3,604,172
固定資産合計	5,413,153	5,364,458
資産合計	16,718,832	16,803,236
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,299,385	1,485,465
短期借入金	204,970	242,400
1年内返済予定の長期借入金	3,519,945	3,430,570
未払法人税等	15,539	44,372
賞与引当金	227,523	464,979
その他	1,178,743	1,268,130
流動負債合計	6,446,107	6,935,917
固定負債		
長期借入金	5,472,530	4,938,325
その他	182,324	172,155
固定負債合計	5,654,854	5,110,480
負債合計	12,100,961	12,046,398

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,132,600	2,132,600
資本剰余金	2,252,600	2,252,600
利益剰余金	226,384	320,918
株主資本合計	4,611,584	4,706,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,074	23,777
為替換算調整勘定	△71,254	△22,436
その他の包括利益累計額合計	△53,179	1,340
非支配株主持分	59,465	49,378
純資産合計	4,617,871	4,756,837
負債純資産合計	16,718,832	16,803,236

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
売上高	8,531,155	7,492,866
売上原価	2,638,291	1,984,223
売上総利益	5,892,864	5,508,642
販売費及び一般管理費	5,841,370	4,998,138
営業利益	51,494	510,504
営業外収益		
受取利息	239	204
その他	1,838	1,266
営業外収益合計	2,077	1,470
営業外費用		
支払利息	7,756	9,567
為替差損	39,190	61,706
その他	1,488	2,362
営業外費用合計	48,434	73,635
経常利益	5,136	438,339
特別損失		
固定資産除却損	4,839	1,209
特別損失合計	4,839	1,209
税金等調整前四半期純利益	297	437,129
法人税、住民税及び事業税	40,940	132,099
法人税等調整額	△13,380	45,659
法人税等合計	27,559	177,759
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△27,261	259,370
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,108	△11,643
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△25,153	271,014

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△27,261	259,370
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,501	5,702
為替換算調整勘定	17,745	50,374
その他の包括利益合計	3,243	56,076
四半期包括利益	△24,017	315,446
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△21,797	325,533
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,220	△10,087

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、「ファッションブランドビジネス」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。